

経営比較分析表

大分県 国東市

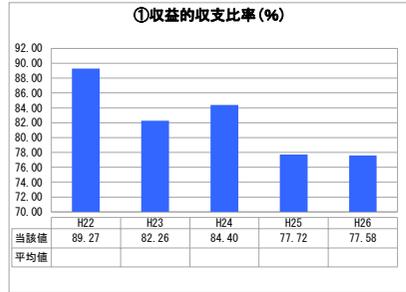
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.34	100.00	3,450

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,413	318.07	95.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
104	0.06	1,733.33

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

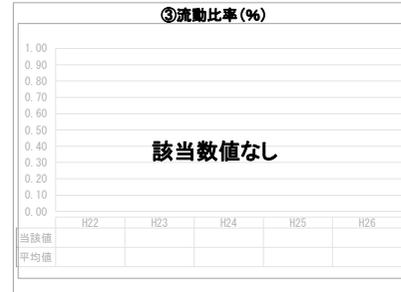
1. 経営の健全性・効率性



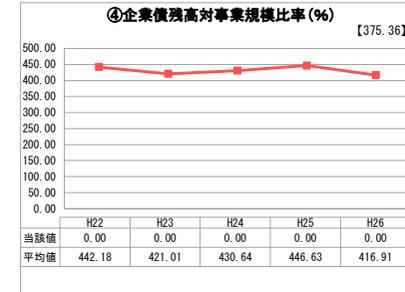
「単年度の収支」



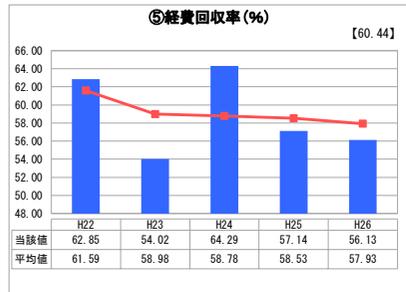
「累積欠損」



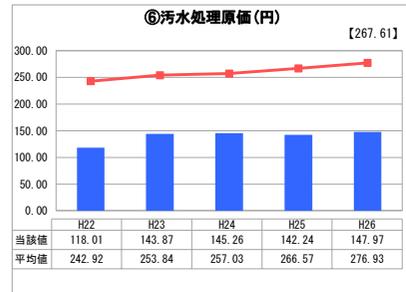
「支払能力」



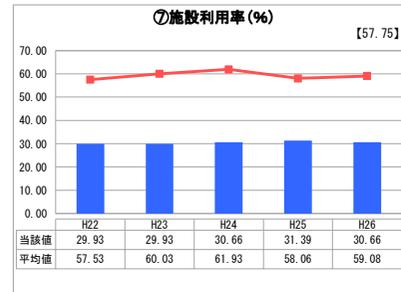
「債務残高」



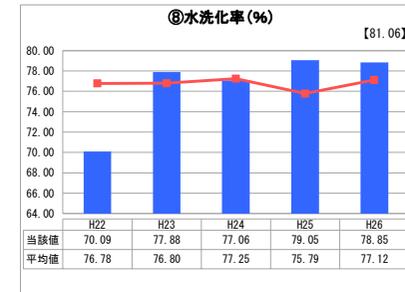
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

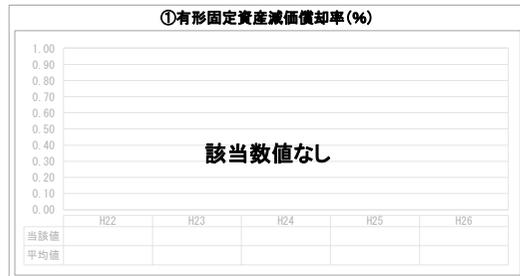


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

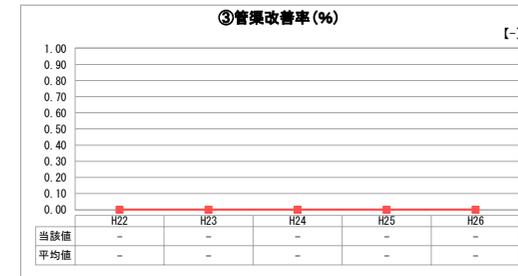
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

平成17年3月25日供用開始。類似団体と比べると、修繕等による維持管理費が発生していないため汚水処理原価が低くなっています。水洗化率は平均値より高いものの、高齢化に伴う休止等により経費回収率が減少しています。

2. 老朽化の状況について

平成16年度に20基、平成17年度に20基、平成18年度に3基設置。浄化槽の標準耐用年数は28年のため現在のところ、老朽化はみられません。

全体総括

今後も経費回収率の減少が見込まれるため、水洗化率の向上が必要です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。